

12

にっぽん ぎんこう きゅう おたる してん

日本銀行旧小樽支店

■ 所在地：小樽市色内1丁目11番16号

■ 問合せ先：日本銀行旧小樽支店金融資料館（TEL 0134-21-1111）

■ 休館日：水曜日（水曜が祝祭日の場合は開館）、年末年始（12/29～1/5）、臨時休館あり



小樽における日本銀行のあゆみは、明治 26（1893）年に派出所を設置して以来、出張所、小樽支店として、平成 14（2002）年に支店を廃止するまで、100年以上に渡ります。その間、北日本随一の経済都市の象徴、色内銀行街のシンボルとして重要な役割を果たし、現在も変わらぬ存在感を放ち続けています。

現在の建物は、日本近代建築の先駆者である辰野金吾の指導のもと、長野宇平治、岡田信一郎の設計により、明治 45（1912）年 7 月に竣工しました。大正・昭和の日本建築界をリードする 3 名が携わった非常に貴重な建物です。

外観は、煉瓦造 2 階建、正面には四つのドームを配し、また海側には望楼を設けるなど、いわゆる「辰野式」で、内部に入ると広がる吹き抜けの大空間は、鉄骨製の梁によって生み出されています。小屋組みには、創業間もない八幡製鉄所製の鉄骨と、その他

の部分には輸入鉄骨（英国製）を用いています。さらに鉄板（波型鉄板）の下にはコンクリートを敷き、外壁には煉瓦を積み、その表面にモルタルを塗りました。そのため、辰野の代表作である東京駅のような赤と白のコントラストはありませんが、内外共に防火に徹底した造りになっています。

日本銀行小樽支店は鉄骨、モルタル、コンクリートといった当時最先端の建材を導入した明治銀行建築の集大成であり、小樽が当時の日本経済の重要地点であったことを示しています。

辰野関わった日本銀行の建築物で現存するものは、旧小樽支店のほかには、本店（東京）、京都出張所、そして前面部分だけを保存した大阪支店のみです。日本近代建築の中でも貴重な作品と言えます。

平成 15 年より「日本銀行旧小樽支店金融資料館」として公開されています。



【写真】 1 日本銀行旧小樽支店外観 2 望楼 3 ロビー（旧営業室）